

1.1 概要

● PC 栈橋

PC 栈橋の上部工は、PC 桁を横締めして床版とする構造がほとんどである。RC 栈橋に比べ、上部工の軽量化が図れるPC 栈橋は、栈橋改良工事・災害復旧などに積極的に利用されている。また、工場製品・プレキャスト部材の使用により、施工の省力化・省工事スペース化・工事期間の短縮が可能である。

平成15年10月には、「PC 栈橋技術マニュアル」が(財)沿岸開発技術研究センターより出版されている。

● PC 浮栈橋

PC 浮栈橋は、主体となるPC 浮体(ポンツーン)、陸岸とポンツーンを結ぶ連絡橋、ポンツーンとポンツーンを結ぶ渡橋およびポンツーンを碇けいする係留索からなる。浮栈橋は潮位とともに上下する為、船舶との高低差に変化が無く、貨客の積み降ろしおよび乗降が容易である。また、水深・地盤状況に影響を受けず、耐震性・機動性に優れたPC 浮栈橋は、近年では大型化された実績もある。